



令和2年4月17日(金)
荒川水系渇水調整協議会
(事務局:関東地方整備局)

記者発表資料

令和2年度
第1回荒川水系渇水調整協議会
(春季定例会)の開催結果について

1. 開催状況

日時 : 令和2年4月16日(木)

場所等 : 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面による議事となりました。

協議会構成 : 国土交通省関東地方整備局、農林水産省関東農政局、東京都、埼玉県、独立行政法人水資源機構

協議会の目的 : 荒川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。

2. 開催結果

別紙のとおり

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、水資源記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川環境課 河川環境課長 建設専門官	あかみち しょうご 赤道 正悟 (内線) 3651 つちや ひでま 土屋 英樹 (内線) 3652	住所 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館 電話 (代表) 048-601-3151
--	--	---

現状と今後の対応

(1) 現状

- 降水量（秋ヶ瀬地点上流域平均）の状況
 - 1月の降水量は95mm（平均値に対する割合279%）
 - 2月の降水量は11mm（平均値に対する割合28%）
 - 3月の降水量は105mm（平均値に対する割合150%）
 - 4月13日までの累加降水量は107mm（4月の累加降水量の平均値は94mm）
- 荒川4ダムの貯水状況（4月14日0時現在）

貯水量は同時期の平均貯水量を上回っています。

貯水量1億3,532万m³、貯水率94%、平均値に対する割合142%

(2) 今後の見通し

- 気象庁発表の気象情報（1ヶ月予報；4月11日から5月10日までの天候見通し）によると、向こう1ヶ月の降水量は「平年並」の確率が40%となっています。
- 荒川4ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期となることから、今後の降雨状況によっては、ダムの貯水量が不足することも考えられます。

(3) 今後の対応

- 今後は、荒川流域の降雨状況、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。
- 荒川ダム群の貯水量や降水量の状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。
- 荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

令和2年度 第1回荒川水系
濁水調整協議会（春季定例会）

荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて



滝沢ダム(令和2年4月7日撮影)

令和2年4月16日

関東地方整備局

1. 荒川4ダム等の現状

(1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和2年4月13日までの降水量）

《令和元年》

10月は令和元年東日本台風（台風19号）等の影響により725mm（平均値160mm）と平年を大きく上回り、11月、12月は平均値程度の降水量でした。

《令和2年》

1月、3月は平均値を上回りましたが、2月は、11mmと平均値の3割程度の降水量でした。

4月の降水量は、13日までの累加で107mmとなっています。（4月の降水量の平均値は94mm）（図-1、表-1参照）

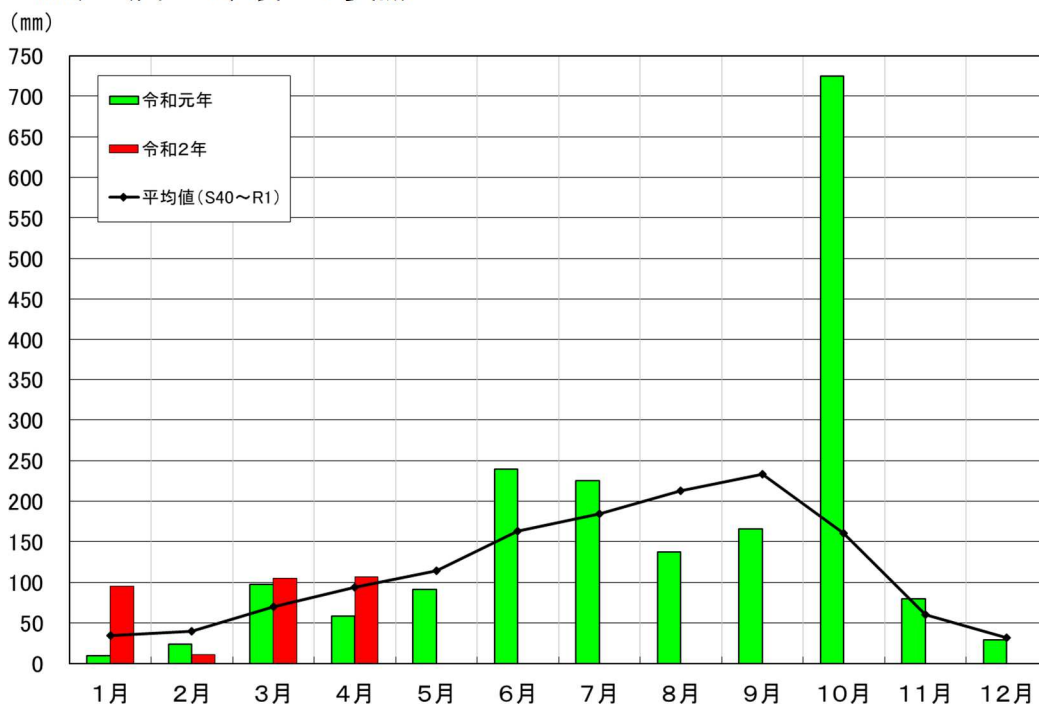


図-1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量

表-1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和2年4月13日まで）

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏渇水
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249	利根川夏渇水
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414	
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,437	荒川夏渇水
令和元年	10	24	97	58	91	239	225	137	166	725	80	29	1,881	-
平均値 (S40~R1)	34	40	70	94	114	163	184	213	233	160	60	32	1,397	-
令和2年	95	11	105	107	0	0	0	0	0	0	-	-	318	-
平均値に対する割合(%)	279	28	150	114	0	0	0	0	0	0	-	-	23	-

※黄色：荒川取水制限実施月（一時緩和含む） 秋ヶ瀬地点上流域面積：2.021km²

(2) 荒川4ダムの貯水状況等（令和2年4月14日0時現在）

《令和元年》

10月以降は令和元年東日本台風（台風19号）、低気圧による大雨等のまとまった降雨により平均値を大きく上回る貯水量で推移しました。

《令和2年》

令和2年に入ってから平均値を大きく上回る貯水量で推移し、令和2年4月14日0時の貯水量は1億3,532万m³、貯水率94%（貯水量の平均値（平成22年～令和元年）に対する割合は142%）となっています。（表-2、図-2参照）

表-2 荒川4ダム貯水量（令和2年4月14日0時現在）

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
二瀬ダム	2,000	1,703	85%	8
滝沢ダム	5,800	5,757	99%	-3
浦山ダム	5,600	5,052	90%	7
荒川貯水池	1,020	1,020	100%	1
4ダム合計	14,420	13,532	94%	13
4ダム合計の平均値 (平成22年～令和元年)		9,556	(平均値に対する割合 142%)	

※有効容量は、常時満水容量

※貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合

※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

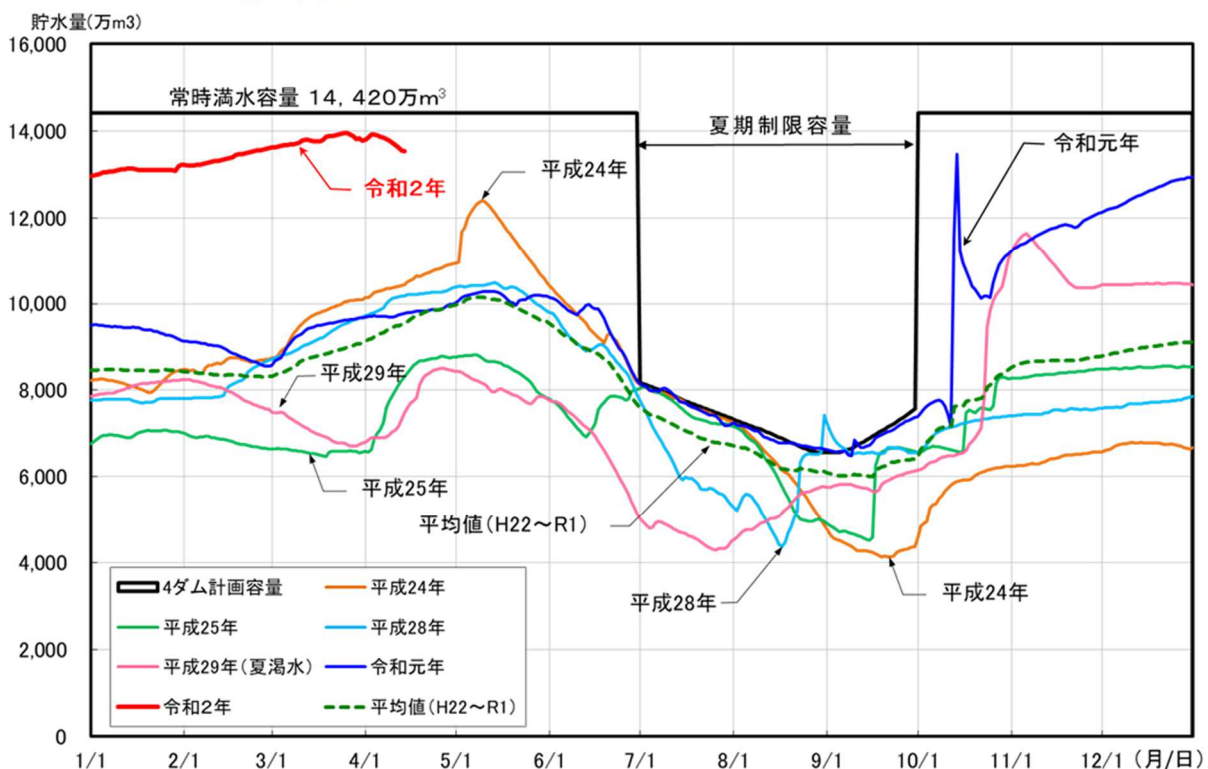
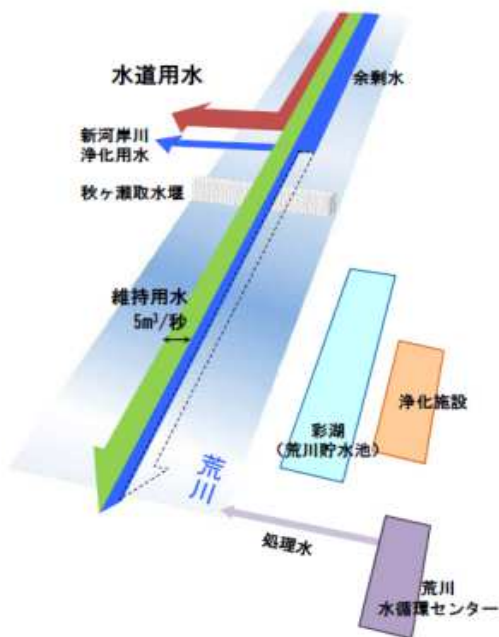


図-2 荒川4ダム貯水量図（令和2年4月14日0時現在）

(3) 荒川第一調節池浄化施設の運用状況

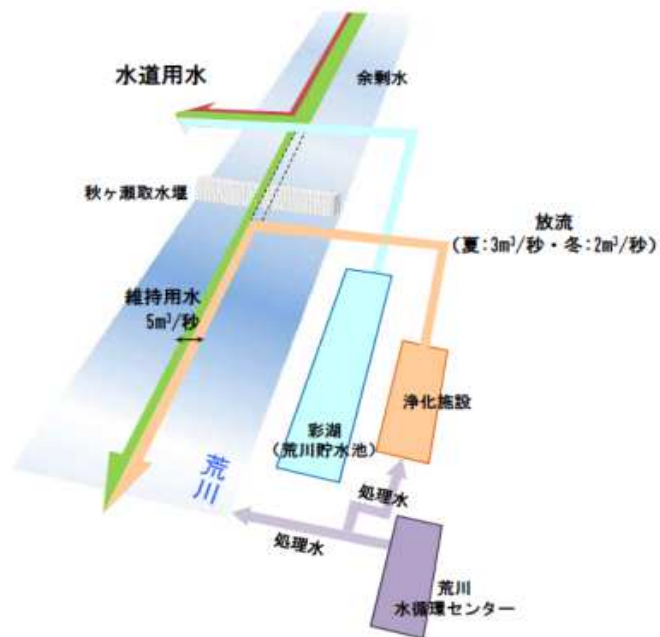
荒川本川流量で水道用水が取水できるとき

- ・堰上流で必要な水量を取水します。
- ・余剰水は堰下流へ放流するとともに、新河岸川への浄化用水として利用します。
- ・彩湖の貯水量が少ない場合には彩湖に取水することもあります。



荒川本川流量で水が足りないとき

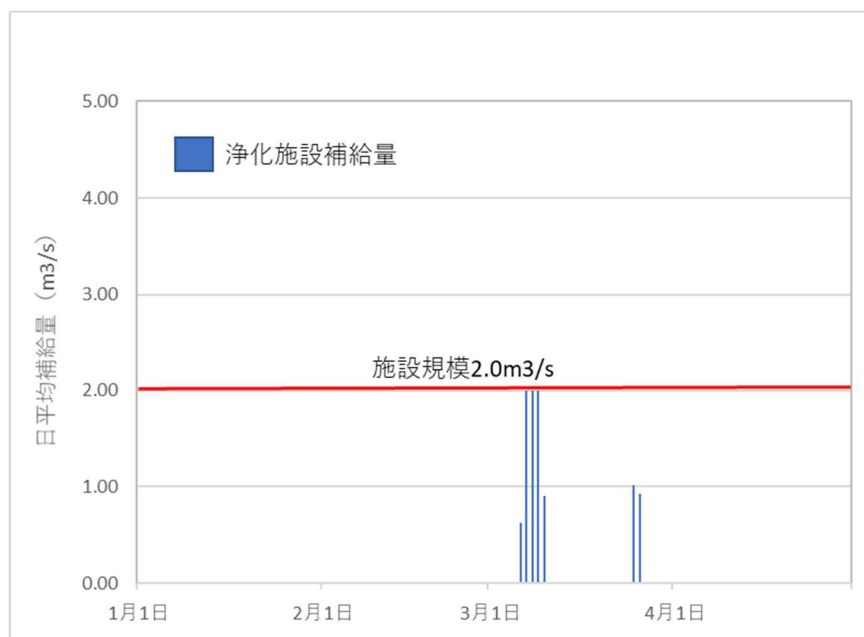
- 水道用水を確保するため、
- ・彩湖(荒川貯水池)から堰の上流に補給します。
 - ・下水処理水を浄化施設に導水して浄化し、堰の下流に放流します。これにより、秋ヶ瀬取水堰は下流への放流量を減らすことが可能となり、結果として堰上流で水道用水の取水が可能となります。



図－3 荒川貯水池及び浄化施設による利水補給

令和2年3月6日から4月13日までに約82万^m³（7日間）の補給をしています。

(図－4 参照)



図－4 荒川第一調節池浄化施設の運用状況

2. 今後の見通し

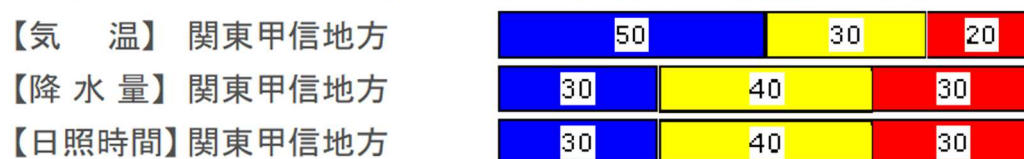
(1) 気象予報

令和2年4月9日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(4月11日から5月10日までの天候見通し)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多く、向こう1ヶ月の降水量は「平年並」の確率が40%となっています。また、3月25日気象庁発表の3か月予報(4月から6月までの天候見通し)によると、4月の天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多く、降水量は「平年並」の確率が40%となっています。5月の天気は数日の周期で変わり、降水量は「平年並」の確率が40%となっており、6月は平年と同様に曇りや雨の日が多く、降水量は「少ない」の確率が40%となっています。

なお、2月25日気象庁発表の暖候期予報(6月から8月までの天候の見通し)によると、6月から7月は平年と同様に曇りや雨の日が多く、その後は平年に比べ晴れの日が多く、降水量は「平年並」の確率が40%となっています。

1か月予報(令和2年4月9日発表)

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)〉

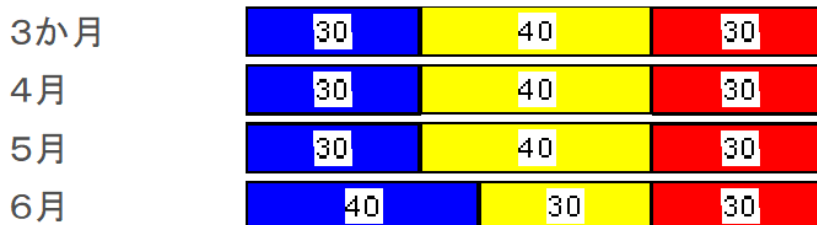


凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3か月予報(令和2年3月25日発表)

【降水量】

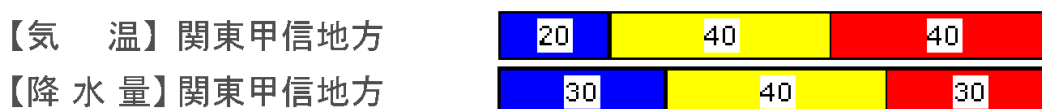
[関東甲信地方]



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

暖候期予報(令和2年2月25日発表)

〈夏(6月~8月)の気温、降水量の各階級の確率(%)〉



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

(2) ダム・貯水池の工事に伴う貯留制限

令和2年度は、令和元年東日本台風（台風19号）により被災した箇所の災害復旧工事を行うことを検討しています。

荒川4ダムのうち、二瀬ダムは台風19号によりダム貯水池内に堆積した土砂の掘削工事を実施するため、10月から来年3月末まで貯水量を制限した運用を検討しています。浦山ダムは、台風19号によりダム貯水池内に堆積した土砂の掘削工事を実施するため、10月は貯水量を制限した運用を検討しています。荒川貯水池は、台風19号により被災した流入堤の補修工事を実施するため、10月から来年3月末まで貯水量を制限した運用を検討しています。

なお、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が来年夏に延期されることになったことを受けて、令和2年度に貯留制限を予定している工事について後倒しできるか等、関係機関と慎重に検討していきます。

関東地方の主要な河川と水資源開発施設

